

対象：小学校中～高学年

●課題のヒント：安全マップをつくろう

家の周囲に、危険だと感じたり、安全だと感じたりする場所はあるかな。それはどういう場所で、なぜそう感じるのだろうか。具体的に考えてみよう。それをマップに表して、家族と共有しよう。

●関連教科内容：

・社会 生活環境を支える働き

●参考にしてほしい活動のながれ

- (1) 家の周りで、危険を感じる所は、どんな所だろう？書き出してみよう。
- (2) それぞれの場所が、どうして危険だと感じるのか、クラゲチャートを使って書き出してみよう。クラゲチャートを見比べたら、共通点はあるかな。
- (3) 家の周りで、危険を感じる所は、どんな所だろう？書き出してみよう。
- (4) それぞれの場所が、どうして安全だと感じるのか、クラゲチャートを使って書き出してみよう。クラゲチャートを見比べたら、共通点はあるかな。
- (5) 自分の家の周りの危険箇所、安全箇所について、調べよう。（参考になるウェブサイト…A～B）
- (6) 実際にマップで調べた所を歩いて、追加調査してみよう。運動にもなるよ。
- (7) 結果を家族と共有して、より詳しい安全マップをつくろう。（参考になる図書情報…C）
 - ・記入事項例…自宅と学校の場所、よく遊ぶ公園や施設、ショッピング施設など
 - ・記入方法例…青シール＝安全な場所／赤シール＝危険な場所
- (8) マップを複製したり掲示したりして、家族と共有しよう。

●活動の参考になるウェブサイト・図書情報：

A：Google マップでストリートビューを使用する

<https://support.google.com/maps/answer/3093484?co=GENIE.Platform%3DDesktop&hl=ja>

B：みんなでつくる、安全マップ

<https://www.honda.co.jp/safetymap/>

C：次山信夫（監修）『安全マップをつくろう～あぶない場所はどこだろう？～』，ポプラ社